

2017 年度聖書の集い（第 1 回）

2017 年 5 月 17 日

桃山基督教会

<http://momoyama.hannari.com/>

古本 靖久

1、聖歌 159 番 「ほろぶるものを あがのうために」

2、お祈り

3、聖書 ルカによる福音書 24 章 1 節～12 節
(新約聖書 159 ページ)

4、今日の内容

キリスト教のおまつり「① イースター」

今年も「聖書の集い」が始まりました。一年間、よろしく願いいたします。今年もレジメを毎回作ります。読み返す時などに、どうぞお使いください。またホームページにもアップしていきますので、どうぞご利用ください。



今年のテーマは、「キリスト教のおまつり」です。日本の中にも、聖書やキリスト教がもたくなって広まっていったおまつりがたくさんあります。一番有名なのは「クリスマス」でしょうか。そのほかにも「ハロウィン」や「バレンタインデー」など、「これってキリスト教から来たの？」と思われるものもあるでしょう。第 1 回は「イースター」です。

① 「イースター」って何の日？

今年のイースターは、4 月 16 日でした。去年は 3 月でした。イースターの日には毎年バラバラです。というのも、「春分の日後にやってくる満月の次の日曜日」をイースターとすることに決まっているからです。

だから、毎年 12 月 25 日に決まっているクリスマスとは違い、日本にはあまり浸透していないのかもしれませんが。しかし今年のイースターの前に、イオンに行ってびっくりしました。いたるところに「イースターおめでとう！」という飾りがあり、きゃりーぱみゅぱみゅの歌声が聞こえてくるのです。「イースター、イースター」と。

※ちなみにその歌の歌詞は、「イースター」ではなく、「いいスタート」だったそうですが。

② そもそも「イースター」ってなに？

スーパーでは「イースター」を、ハロウィンに続く新しい消費拡大のツールとして考えているようですが、「イースター」の本当の意味は何なのでしょう。

「イースター」を日本語にすると、「復活祭」となります。(桃山基督教会が属している聖公会では「復活日」と呼びます)。その復活とは、十字架で死んだイエス・キリストが、お墓の中からよみがえった出来事をさします。

こう言うと、多くの人は眉をひそめます。墓の中からよみがえるというイメージは、ゾンビ映画だったり、バイオハザードだったり、マイケル・ジャクソンのスリラーだったりするからです。

でもキリスト教を信じる人たちは 2000 年もの間、この「イエス様の復活」を自分たちに与えられた大切な出来事として、ずっと記念してきました。それはイエス様と共に、わたしたちもまた「新しい命」にあずかることができると考えているからです。

③ わたしたちの復活って？

果たして人は、生まれ変わることができるのでしょうか。生き方や考え方を少し修正することはできても、まるっきり 180 度方向を変えることは、とても難しいと思います。

例えるならば、わたしたちはドロドロに汚れた存在です。そのままでは、神さまの前に立つことなどできません。でも自分の力で真っ白に変わろうと思っても、どうでしょう。それができるでしょうか。

クリスマスのお話しますが、神さまはそんなわたしたちのために、イエス様を与えてくださいました。汚れてしまったわたしたちが神さまの前に再び立つことができるために、イエス様はわたしたちを包み込んでくださいます。まるで白い衣のように。

そのイエス様の愛に包み込まれたときに、わたしたちは新たにされます。だからわたしたちはイースターを喜ぶのです。イエス様が復活してわたしたち一人ひとりといつも一緒にいてくださる。そのことに感謝するのです。それがイースターなのです。

＜桃山基督教会での礼拝のご案内：どなたでもお気軽にどうぞ＞

日曜学校（子どもの礼拝）： 毎週日曜日 午前 9 時 30 分から

日曜礼拝： 毎週日曜日 午前 10 時 30 分から